

1 磐田市防潮堤整備事業について

- (1) 竜洋海洋公園工区並びに太田川河口工区の防潮堤整備事業について

竜洋海洋公園工区、太田川河口工区の進捗状況を伺う。

太田川河口工区より採取した砂の利用用途を伺う。

- (2) 保安林における海岸防潮堤整備について

保安林における海岸防潮堤の進捗状況を伺う。

海底及び後背地の地形状況により築堤工法に違いがあるのか伺う。

また、違いがあればその違いを伺う。

堤防の築堤において、波力に抗する強度及び耐久力の力学的な数値目標を伺う。

市民の最大の関心事は何時ごろできるのか、ということです。

今後の工程及び着工の予定(工事場所、時期)を伺う。

- (3) 磐田市津波対策寄附金について

寄附金の現況と今後の見通しについて伺う。

市民や企業よりいただいた浄財に対し、寄附金の状況や築堤の現状の進捗状況をその都度報告すべきと思うが見解を伺う。

- (4) 岩沼市の「千年希望の丘」は、丘と「緑の堤防」を連結させ、津波の

力を減衰し、避難場所として活用します、と岩沼市のHPにあります。

現在推進中の磐田市海岸防潮堤は、この「千年希望の丘」を参考に築堤すると議会での説明でした。コンセプトも構造も異なるものと考えますが、見解を伺います。

2 原発避難計画について

- (1) 浜岡原子力発電所における原子力災害を想定した広域避難計画について、

現況の本市における避難計画を伺う。

3 市南部地域について

(1) 市南部地域の発展

東日本大震災以降の市南部地域（旧磐田市南部・旧竜洋・旧福田）の人口並びに地価の推移と見解を伺う。

東日本大震災以降の市南部地域（旧磐田市南部・旧竜洋・旧福田）における民家並びに工場数の推移と見解を伺う。

津波を危惧し、福田中学の立地を危ぶみ、福田地区への移転を躊躇する声を聴きます。今回発表された市の学府一体校整備構想で、優先度の高い中学校区について第一段階として豊田中学校区、次に向陽中学校区を整備していくことが適切と考えられると結んでいます。しかし、建物の老朽化が顕著な中学校区として、豊田、豊岡、福田が上げられています。そのうち、福田中学校は老朽化率84%、築年数の平均が36.4年。5年後に築50年を超過する建物は4棟、延床面積は3,614㎡を数えます。豊田中学校区と比較しても、施設整備の優先度はなんら見劣りするものではありません。市南部地域の人口増、地下の上昇、産業の隆盛を図るためにも、是非市長の英断で、総合的な見地から福田中学の整備を優先すべきと考えますが見解を伺います。

4 下水道事業について

(1) 下水汚泥資源利用によるエネルギー化の導入予定を伺う。